

# 授業構成図

## 本時のねらい

ミニトマトをいろいろな視点で観察し、前との様子を比べることで、成長に気付くことができる。

## キャリア教育の視点☆

観察したことを友達と交流し、自分の考えを伝えることで、友達に主体的に関わるることができる。

## 目指す子どもの姿

S いろいろな視点でミニトマトを観察し、前との違いを見つけ、これからのミニトマトの成長を予想している。  
 A ミニトマトをいろいろな視点で観察し、前の様子と比べることができる。

つまづきをなくすために

## 判断

ミニトマトを観察する視点を見つけれない。

## 原因

思考ツールの使い方が分からない。観察する見通しをもてていない。

←  
 これまで観察してきたくま手図を掲示し、どのような視点で観察すればよいかヒントにする。

見通しや実行方法を発想する場面

## ⑤ミニトマトの実を観察する。

T くま手図を使って、観察をしましょう。どのような視点で観察すればいいですか。

C 形

C 数

C 大きさ

C 色

C 手ざわり

C におい

C 似ているものを見つけます。

## ⑥観察したことを交流する。☆

T 観察したことを交流しましょう。

## ⑦前のミニトマトと比べる。

T これまでのミニトマトの様子と比べてみましょう。

C 大きさが、一センチメートル

大きくなっていました。

C 色が、緑からオレンジや赤に

変わっていました。

C 実の数が、二こだったけれど、

十こになっていました。

T これからどんな成長をしていくのでしょうか。

## ⑧ふり返りをする。

T 今日の学習をふり返りましょう。

対象と既存の知識とを関連づけ、対象が生じる原因を類推

課題を見出す場面

## ①ミニトマトを植えたころのことを思い出す。

T 何の写真でしょう。

C ミニトマトです。

C 水をあげている時の写真です。

## ②ミニトマトの変化を話し合う。

T 植えたころのミニトマトと今のミニトマトは同じですか。

C 違います。

C 大きくなっていると思います。

C 花が咲きました。

C 実が赤くなっています。

C まだ緑のものもあります。

T これまでも、ミニトマトを観察してきましたね。

## ③学習課題をたてる。

いろいろなしてんで、ミニトマトのみをかきつし、前とくらべよう。

## ④ルーブリックの設定をする。

T 今日のルーブリックを決めましょう。

対象と既存の知識との「ズレ」を認識

思考スキル「多面的にみる」  
 ↓  
 思考ツール「くま手図」

